

2026 年 10 月 19 日 日本テレビ定例会見

《要旨》

1. 営業状況

・放送収入

9月単月、タイムセールスは前年並みの水準でしたが、曜日の要因や番組休止の影響で前年比 98.9%となりました。スポットは前年のフジテレビ要因の反動はありましたがシェアは 31.6%で、在京 5 社通じて 9 月の歴代 2 位となっております。

上期の放送収入については、主に「FIFA ワールドカップ 2026」によりタイムは前年比 106.9%の増収。スポットは前年比 81.7%、トータルで 92.9%でした。上期全体のシェアは、在京 5社通じて歴代2位となる 30.4%です。放送収入全体で、フジテレビの要因を除いた 2 年前、2024 年との比較では 100.7%となっております。

「アドリーチマックス」事業の新会社化について、一言お話をさせてください。「アドリーチマックス」は、当社が 2025 年 4 月に始めた広告出稿の取引基盤です。当社一社でもって活用するよりも一社でも多くの放送局に参加していただくことが望ましいと思っており、広告主の皆様にとっても使いやすいプラットフォームになると思います。

その判断から TBS テレビさんそれからフジテレビさんにご賛同をいただき 3 社で出資する新会社を設立いたしました。広告主の皆様のマーケティングがテレビもネットも横断してデータで検証することが当たり前になる中でテレビが選択され続けるためには、取引の仕組みそのものも進化させるべきという判断でございます。新会社は 2027 年 2 月の事業開始を予定しております。

テレビ広告市場全体の発展につながる取り組みとしてぜひ注目していただければと思います。

・放送外収入

(桑原取締役執行役員)

映画「バッド・ルーテナント：トウキョウ」ですが、日本テレビがハリウッドの制作陣と組んで世界市場を見据えて制作した国際共同プロジェクトです。中期経営計画に掲げました「日テレ開国」宣言に沿った取り組みです。三池崇史監督、主演に小栗旬さん、ハリウッド女優のリリー・ジェームズさんを迎え、10 月 23 日に日本で先行公開します。

北米を中心とした世界公開は「パラサイト 半地下の家族」などを配給したハリウッドの新進気鋭のスタジオ NEON が担当します。現時点でアメリカ、イギリス、フランスなど世界 17 の国と地域で劇場公開を予定しています。9 月に開催されたトロント国際映画祭でのワールドプレミアでは、約 5 分間のスタンディングオベーションを受けるなど大きな反響がありました。さらにスペインのカタロニア国際映画祭、ポルトガルリスボン映画祭、スウェーデンのストックホルム映画祭など各国映画祭への出展も既に決定しています。

この作品と一緒に作りましたプロデューサーのジェレミー・トーマスさんは、「ラストエンペラー」や「戦場のメリークリスマス」を手掛けた方ですが、作品の完成を見届けて 9 月 11 日に 77 歳でお亡くなりになりました。彼がこの作品に向けた情熱に対して、心から感謝と敬意をお伝えしたいと思います。

続いて事業ですが、「ルーヴル美術館展 ルネサンス」は 35 日目となる 10 月 17 日に総動員数 20 万人を突破しました。連日多くのお客様にご来場いただいて大変感謝しております。混雑してお

りますが、スタッフを大幅に増員しオペレーション体制を強化しておりまして待ち時間を最小限に抑えられるように取り組んでおります。

最後に、京橋の CREATIVE MUSEUM TOKYO で 8 月 31 日に閉幕した「細田守の原点/展」は、当初想定を大きく上回って 25 万人のお客様に来場いただきました。「時をかける少女」や「サマーウォーズ」、さらには細田監督が学生時代に作ったものなど、監督の本当に原点というべき初期作品を多くかつ丁寧に網羅しており、20 代や 30 代の若い人たちに支持され大好評を得ました。10 月 28 日からは大阪展が開幕いたします

細田さんの作品で音楽や映像表現が高く評価された大ヒット映画「竜とそばかすの姫」のスピノフ的な体験型イベント「アニメーシブライブ 竜とそばかすの姫 - PROJECT LAYRA -」というのも高輪ゲートウェイの MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000 で 11 月 15 日まで開催されております。こちらは VTuber アーティストのライブと最新の LED 音響照明を駆使した空間演出が合体。そこに生歌が混ざり合った新しい形のエンターテインメントになっています。こちらの方もぜひ盛り上げていきたいと思っております。

2. 質疑

10 月期ドラマについて

Q. 10 月期の3ドラマがスタートしました。3ドラマの評価、所感などをお聞かせください。

A. 10 月期の 3 ドラマについては、いずれも自信を持ってお届けしております。出演者の皆さんには番組宣伝にも本当に注力していただいて、大変感謝しております。

「俺たちの箱根駅伝」では、大泉洋さんには、伊藤沙莉さん、山下智久さんとともに番組スタート前から大いに盛り上げていただきました。大泉さんには冠単発番組「スター激突！大泉ボウリング」で MC も務めていただきました。個人視聴率 6.5%、コアも 4.5%と非常に高い支持をいただきまして新規のバラエティ単発としては飛び抜けた実績を残すことができました。「俺たちの箱根駅伝」の第2話は初回の実績を上回ってきましたので、水曜ドラマ、日曜ドラマともに大変期待をしております。

(岡部取締役常務執行役員)

A.「俺たちの箱根駅伝」は初回は個人視聴率 5.0% コア 2.6%でした。配信再生数は 319 万回で、日本テレビのドラマ初回としては歴代最高の数値を記録しました。また 2 話は個人 5.5%、コア 2.9%とともに上昇しており、作品としてさらに支持されていると感じています。大泉洋さん、伊藤沙莉さん、山下智久さんをはじめとするキャスト陣の熱演も含め、1 秒が明暗を分ける「箱根駅伝」予選会の厳しさと中継にかける制作現場の努力がこの 1 回 2 回と見事に表現されていると思います。先週土曜日に行われた「箱根駅伝」予選会にはドラマの影響か、非常に多くの観客の皆様が応援にかけつけていただいております。私も現場におり、公式発表はされていませんが、歴代の中では最大の人数の方々にお集まりいただき、ランナーたちに声援を送っていただいたと思っております。

またドラマの中に出てくる放送手形、もしくは D ボイスなども実際の「箱根駅伝」中継に使っているものをそのまま表現していますし、またフィロソフィーとして主役である選手の真剣勝負をありのままに伝えるということも、このドラマで「箱根駅伝」の魂として表現できたと思います。「箱根駅伝」を長年中継してきた日本テレビだからこそ描ける熱い人間ドラマがこの先も繰り広げられていきますので、ぜひ皆様も最終回までお楽しみいただければと思います。

また水曜 22 時の「メリーベリーラブ」は、韓国の CJ ENM との共同プロジェクトで制作し、Disney+ を通じて全世界配信していることも非常に特徴的です。アジアのトップスターである

チ・チャンウクさんと今田美桜さんが演じる魅力的なキャラクターや、日本テレビのドラマでは今までなかったようなテンポの良い掛け合いというものも素晴らしく、日本語と韓国語が混じり合う世界観もとても新鮮だと思っています。

第1話のTVerでの動画再生数は225万回と好調で、またDisney+ではTV Show部門でグローバルランキングが最高の2位になりました。日本・韓国・香港・ブラジル4カ国で首位を獲得したほか、世界72の国と地域でトップ10とグローバルで非常に多くの方にこのドラマを届けられたことを嬉しく思っています。

最後に日曜22時半の「ハイド&シーク 0秒前の彼女」、こちらも初回の配信再生数が180万回を超えており好調です。ご覧になった方はお分かりになると思いますが、非常に疾走感のあるアクションシーンと謎に満ちた人間模様を引き込まれる作品となっており、考察しながら楽しんでいただいている視聴者の方が多いようです。先日、ミステリー作家の今村昌弘さんによる書き下ろしの原作が発売になりましたので、これから書籍も合わせて盛り上がっていくことを期待しております。

Q. 「俺たちの箱根駅伝」の視聴率について、想定していた数字とどれくらい乖離があったのか。他局の番組編成の影響はあったのか、所感をお聞かせください。

A. 目標という数字はないのですが、もう少し行きたいとは思っておりますし、行けるとしております。

(岡部取締役常務執行役員)

A. 第1話、第2話とも他局の番組編成が非常に強く、今後は日本シリーズもあるので毎週放送の環境が特殊な状況になっているのは事実だが、その中で、「俺たちの箱根駅伝」だけでなく日曜の「ハイド&シーク 0秒前の彼女」、水曜の「メリーベリラブ」も含めて配信あるいはテレビ以外のところも含め色々な形で盛り上げていきたいと思っています。

Q. 「俺たちの箱根駅伝」には本人役で青山学院大学の原晋監督が出演されていたり、ドラマで書かれている関東学生連合チームがこれまで以上に注目されていますが、年始の「箱根駅伝」の中継にどのような相乗効果を期待しているのかお聞かせください。

A. 非常に楽しみです。毎年必ずご覧になっていただける「箱根駅伝」のファンの皆様はもちろんのこと、ドラマを通じて、また池井戸潤先生の原作を通じて「箱根駅伝」に初めて触れた方がかなり多いと思います。あるいは、なんとなく見たことあるけどちょっと今年は予選会から見てみようかなという、そういった皆様が本選の方にも期待をしていただけるのかなと思うと我々もワクワクが止まりません。例年以上の皆さまにご覧いただけることを期待しております。

元 timelesz の猪俣周杜さん逮捕を受けた対応について

Q. 元 timelesz の猪俣周杜さんの逮捕を受けた対応と「timelesz ファミリア」の今後の放送について改めて考えを聞かせてください。

(岡部取締役常務執行役員)

A. 「timelesz ファミリア」「歌の感謝祭」については、逮捕の報告を受けて放送内容の差し替えや出演シーンのカットなど、適切な対応を行いました。今後の「timelesz ファミリア」につきましては、猪俣さんのグループ脱退を受け、7名のメンバーの皆さんと共に番組を継続します。

今季の巨人の戦いと来季にむけての期待について

Q. プロ野球、セ・リーグは阪神が優勝、巨人は2位となりました。今シーズンの巨人の戦いと来期に向けての期待をお聞かせください。

A. 今シーズンのジャイアンツは打線の主軸だった岡本和真選手がMLBに移籍し、チームにとっては本当に厳しい状況でスタートしたわけですが、橋上秀樹監督代行のもと、チームがまとまって、しっかり戦ってくれました。クライマックスシリーズは負けてしまいましたので大変残念に思っておりますが、レギュラーシーズンでは最終局面まで阪神と優勝争いができたということで、来シーズンに向けては良い経験にもなっていますし、戦力は整ってきているのではないかと考えております。来年のリーグ優勝とシリーズ制覇を期待したいと思います。

「アメリカ横断ウルトラクイズ」について

Q. 約30年ぶりに復活する「アメリカ横断ウルトラクイズ」についてお伺いします。昨今の状況の中、これだけの大規模な海外ロケを敢行するのは、大きな決断だと思いますが、色々な制約がある中で、現状の制作状況、手応えなどお聞かせください

A. 久しぶりの復活ということで、昔の「アメリカ横断ウルトラクイズ」のファン、今のクイズファンの方、出場者募集への応募の数を見ましても、多くの皆様が楽しみにしてくださっているんだと、我々もとても楽しみにしております。ロケも順調に進んでおりまして、ちょうど海外ロケの半分ちょっとまでは進んでいると報告をうけています。

(岡部取締役常務執行役員)

A. 初回放送の約50年前と一番違うのは、海外の渡航における安全性、政権の変化などありますので、海外ロケに参加いただく一般の皆様、出演者そしてスタッフの安全確認、さらに現地の法令の遵守ということを最優先事項として制作を進めているというところをまず最初に申し上げたいと思います

一方で、現役のクリエイターの中で、50年前の制作というのを経験しているスタッフは当然いないのですが、「24時間テレビ」や「高校生クイズ」、「世界の果てまでイッテQ!」といった番組を手掛けたクリエイターが集結しておりますので、全力を挙げて創意工夫で、この新しい「アメリカ横断ウルトラクイズ」を届けてまいります。ぜひ楽しみにしてください。

伊東四朗さんの引退発表について

Q. 伊東四朗さんが来年での芸能界引退を発表されました。引退発表への受け止めをお聞かせください。

A. 「伊東家の食卓」は1997年から10年間レギュラー番組として放送され、当時の日本テレビの看板番組でした。毎週、「伊東家のお父さん」として出演され、生活の知恵ともいえる「裏ワザ」を新しい楽しさにして紹介してくださいました。芝居にも長けていらっしゃる方ですので、本当に豊かな表現力とユーモアを発揮していただきました。「伊東家の食卓」のみならず多くのドラマにもご出演いただいています。改めて心から感謝を申し上げたいと思います。引退後はもう仕事を一緒にできないと思うと本当に残念ですし、寂しい思いがいたしますが、今後もぜひお元氣でお過ごしになられますようにとお祈り申し上げます。

テレビ番組制作の AI 活用について

Q. テレビの番組制作における AI 活用の現状と、今後の方針について教えてください。

(岡部取締役常務執行役員)

A. AI については番組制作だけでなく、視聴者の方がどのように番組を見ているのかを AI で分析するシステムを構築し、プロモーションも含め番組制作に活かしています。

Q. 直接的な表現部分での AI の活用についてはいかがですか。

A. 積極活用です。制作支援もそうですが、表現の部分でも活用が随分進んでいます。AI だけで撮ったドラマも賞をいただいていますし、いろいろ試しながら使っています。

サイバー攻撃による不正アクセスについて

Q. 不正アクセスによってメディア企業でも大量の情報流出が起きています。日本テレビでそういった被害が出ているか、またどういった対策をとっているか教えてください。

A. まず、対策についてのご質問からお答えすると、当然、サイバー攻撃に対する防御については常々対応しておりますが、さらにそれを進めていかなければいけない。攻撃された後の対応についても慎重に学びながら備えているという状況が続いており、さらに強化をしなければいけないと思っております。

当グループでの状況ですが、既に我々のグループ会社であります日テレ WANDS からリリースが出ておりますけれども、同社が運営するファンコミュニティサイト FaveConnect において、管理画面に対する第三者からの不正アクセスがあり、約 12 万件の個人情報が閲覧された可能性があります。

またティップネスの方でも不正アクセスが発生しており、こちらもすでにホームページの方で発表しているという状況です。

それからこれは日本テレビのグループではないのですが、WEB 制作のプラットフォームを提供している Studio 社がサイバー攻撃を受けたことを 16 日に公表しています。日本テレビも同社のサービスを利用しておりまして、ドリームコーチングというサービスがキャンペーンやイベントなどを通してお預かりしたお客様の 1,040 人分の氏名、メールアドレス、住所などの個人情報が外部に流出した可能性があるという状況です。ただこれはまだ精査中ということで、最終的な報告を受けている状況ではございません。可能性があると思われます個人情報それぞれの皆様に対しては、公表のあった 16 日中に日本テレビから個別にご連絡をさせていただいております。なお、クレジットカード等の情報などは含まれておりません。

「アドリーチマックス」事業の新会社化について

Q. 今回 TBS テレビとフジテレビと会社を設立しましたが、他局もある中でこの 2 社になった理由を聞かせてください。

A. 新会社設立のタイミングでは TBS さんとフジテレビさんですが、我々の気持ちとしては、在京全局がこのプラットフォームに参画していただければいいなと思っていますので、そこを目指して進めております。在京局のみならずネットワーク局等々にも広がればと思っています。

ワーナーブラザーズ・ディスカバリーとの提携について

Q. ワーナーブラザーズ・ディスカバリーと提携し 10 月に HBO MAX on Hulu を始めましたが現時点での手応えを教えてください

(岡部取締役常務執行役員)

A. まず一番大きな現状の変化では、今、日本における人気の海外ドラマの 8 割以上が Hulu で見られることになりましたので、その意味では視聴時間において海外ドラマが非常に増えているということです。12 月からは「ハリー・ポッター」シリーズがテレビシリーズとして大きく生まれ変わります。非常に大作かつ、以前の映画版とは異なり、一巻一巻が複数のドラマシリーズになってくるので、これまで出てこないキャラクターも含めて、今までの「ハリー・ポッター」を知っている方も、「ハリー・ポッター」を知らない方も楽しんでいただけます。12 月から追加料金なしで独占で見られるのは Hulu だけですので、期待しております。

Q. 同時に料金改定もされましたが値上げによる解約の影響はどう見えていますか。

(岡部取締役常務執行役員)

A. 1,026 円から 1,320 円への変更に見えますが、実はこれ 400 ポイント、400 円分がついております。例えば「まんが王国」の電子漫画を使える、もしくは有料の映画を見られるという 400 ポイントがついての 1,320 円なので表現としては値上げではなくサービス改定になります。会員の皆様、生活者の皆様が可処分時間の中でどのプラットフォームを選ぶか、冷静に判断していると思います。その中で Disney+さんとのバンドルプランもあれば、今回DAZNさんのスタンダード会員に 480 円足すだけでHuluが見られるので、生活者の皆様は「これはお得だな」など色々な形で、情報を精査しながら選んでいただいている状況だと思います。改定によって会員様が離脱したという印象は抱いておりません。

(了)

福田 博之 代表取締役社長執行役員
岡部 智洋 取締役常務執行役員
伊佐治 健 取締役執行役員
桑原 勇蔵 取締役執行役員

※回答者名のないものは、福田社長による回答です。